

平成23年度 第4回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 男女共同参画の現状と将来について ～



日時：平成23年8月4日（木）

午後3時00分～4時30分

場所：本庁舎7階A会議室

参加者

川越市女性団体連絡協議会、川越市女性ネットワークの皆さん25名

出席者

市長、宍戸副市長、市長秘書、市民部長、市民部参事

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	5	高齢者の移動手段	6
		ブックスタート	17
		育児ボランティアの講習	18
		臍帯血のPR	19
		子育て支援、子宮がん・乳がん検診無料クーポン券のPR	19
教育・文化・スポーツ	11	小学生の演劇教室・音楽教室	6
		育成会	8
		教員の仕事量の軽減	8
		学校の臨時職員の増設	8
		学校の女性管理職	8
		学校給食の安全性	13
		学校の耐震化	16
		美術館の管理	19
		河越館跡の整備	20
		川越茶の復興	20
		拠点施設の音楽室	20
都市基盤・生活基盤	4	川越シャトル	4
		巨大発泡スチロールオブジェ	12
		街路樹の剪定方法	20
		建築物の高さ規制	22
産業・観光	1	花の咲いている集客施設	11

分 類	件数	内 容	頁
環 境	1	川越駅東口の喫煙所	14
地域社会と市民生活	11	協働委託事業	3
		広報川越	3
		川越の名所紹介	3
		拠点施設の有効利用	3
		クオータ制	6
		男女共同参画庁内会議委員の女性委員	6
		児童館の拡充	9
		キャンプ施設	10
		市庁舎の耐震化	17
		川越市の女性管理職との交流	17
		防災行政無線	21
そ の 他	2	投票率の向上策	14
		議会傍聴	16
計	35		

意見交換（要約）

《協働委託事業》

意見 今日にはタウンミーティングにお招きいただき、本当にありがとうございました。市長さんとお話し合いができるということは意義あることだと思うんですね。市民とのふれあいの中で男女共同参画を進めていくよい機会ではないかと思っております。

私たち川越市女性団体連絡協議会は現在 26 団体の皆様で構成されております。それぞれ異なった活動をしておりますので、単会が大変意義あることで、視野が広がり、貴重な存在だと思います。女性の地位向上だとか、ボランティア活動だとか、健康促進とか、教育部門とか本当にいろいろな方々と交われるので、私は本当にこの会に入ってよかったと思っています。私は国際ソロプチミスト埼玉からの代表で来ておりますが、最初からこの会には入っております。

実は昨年、初めて、川越市の協働委託ということでイーブン・ライフ・イン川越をやらせていただきました。本当に市のご協力もありましたが、初めてのことなのでとてもよい経験はいたしました。限られた予算の中で協力しながら、また苦労もありましたが、充実感を味わうことができました。やはり市単独のトップダウンのことでなくて、私はお互いに協働してやるということはよかったなと、最初はとっても戸惑いましたけれども、大変よかったなということでございます。本当に感謝しております。

ことしもまたイーブン・ライフ・イン川越を協働委託事業として受けさせていただきますので、またご指導、ご協力をお願いしたいと思います。

きょうは皆さんがたくさんおしゃべりしたほうがいいですから、私はこれぐらいにいたします。これからもよろしく願いいたします。

《広報川越、川越の名所紹介、拠点施設の有効利用》

意見 私たち女性団体は行政とともに活動することを明記しておりますので、市民部長さんを初め部課長さんに市の基本計画とか男女共同参画の 4 次の基本計画等について説明していただきましたので、本当によかったと思っております。協働の心に沿って、私たちは活動が充実できると思っております。これらに関しては全市民に配布されます広報川越はいろんなことが掲載されておりますので、私は重要な情報源として、行政の計画等がしみ渡っていると思って読ませていただいておりますが、行政と市民が一体となってまちづくりに専念できるなと思っております。

2つ目は、川越の観光については本当に素晴らしい発展を感じておりますけれども、私も他市から川越に来た人間ですので、他市から川越に転居した市民にとっては、川越市の歴史とか名所等についてなかなかわかりかねるところがあるかと思っております。私たち女性団体も昨年は名所めぐりを計画して、市の係の方に説明していただいて、私は感心してお聞きしたんですけれども、本年度も川越景観 100 選の中から何箇所かを案内していただく計画があるんですが、この経緯につきましても、健康を初め多くの計画によって、市民への働きかけによって、川越を愛し、そして川越をお友だちとか親戚とか皆さんにもPRできる、川越はこういう良い所よということが話題に上ったりしますので、そういった点も心から願って、広報川越等においても、いろいろそういった歴史の名所等についてもわかりやすくこれからも掲載していただければありがたいと思っております。

3点目は、市長さんは少子化とか高齢化の問題につきましてお話しされておりますけれども、川越駅の西口にできる多目的施設の有効使用によりまして、私は子育て支援の充実等にかかわっているものですから、高齢者が家にこもって孤独にならないように気軽に利用できたらというふうに願っております。

また、女性団体としても以前に要望書を提出してありますが、活動の拠点として、多くの女性、男性が共によりよく生きるための活動を推進していけたらと思っておりますので、その点もどうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

《川越シャトル》

意見 本日はお忙しい中、ありがとうございます。私は、今、見直しを検討しているシャトルバスの問題についてお話をしたいと思います。

私もシャトルバスを利用しております。今日ここへ来るのも利用してきました。本当に大変助かっている一人なんです。なぜかといいますと、岸町には路線バスが全然ないんですよ。だから何も通っていないのでこのシャトルバスだけが本当に駅まで出てくる、あるいはこちらのほうへ来るための頼りのバスなんです。

私のコースは 30 系統といいまして、南文化会館からオアシスのコースなんです。路線バスがないということで、利用者も若い人からお年寄りまで多数利用しております。多分利用者数も 2 番目ぐらいに多いんじゃないかなと思っております。

このバスのいいところは、障害者の人もお年寄りにも自然に席を譲ることが見られる、お互いに助け合う、奉仕精神を培っている重要なバスだと思っております。バスの中で、息子や娘に頼まなくてもシャトルバスがあるから外に出ることができる、本当に助かっていると皆さん話しております。元気で長生きするためにもシャトルバスは

岸町では欠かせないものなんです。実際には赤字だというふうにもお聞きしております。でも路線バスの通っていない岸町には、せめて川越駅東口までの本数を増やしていただけたらありがたいなと思っています。駅から先は路線バスがたくさん出ておりますので、それを利用していきたいと思っています。

特に今検討していただきたいのは、私は岸町3丁目から9時15分発のバスに乗って女性団体の会合なんかへ行くんですけども、そのときに3丁目でもう満杯なんですよ、人がたくさん乗っていて。私も年寄りですけども、もっと上の人を先に乗せますと、最後に私が乗るのがすごい大変なぐらい満杯です。それはなぜかという、その後は10時40分しかないんですよ。オアシスでもいろんな講座は10時からですし、プールも始まっていますので、どうしても9時15分に集中してしまいます。8時台もあるといいんですが、ぜひ検討課題に入れていただきたいなと思っております。

最後に、私たちのコースは市役所もみんな通っているし本当によいほうだと思いますが、せめて1時間に1本出していただけるとありがたいなと、ぜひそれは検討していただきたいなという思いがございます。

川合市長 シャトルバスについては昨年度、今年度と今見直しをやっているところで、まだ最終的にそれぞれの路線がどうなのかというところまではいってないのですが、できる限りご要望は取り入れていきたいと思えます。

意見 とにかく足がないので、よろしく願います。

市民部長 昔、担当としてシャトルバスにかかわっていました。昔は、皆さんご存じのようにオアシスだけではなく、いろいろ駅ではなく横にも回るようなバスということでできていた経緯があります。ただ、経費が結構かかるものですから、何回かもう見直しをしております。駅まで行けば、今おっしゃられたとおりに公共交通機関のバスがありますので、駅を経由した路線に直そうということで直したこともございます。それから情報の調査をさせていただいて、1日に一人も乗らないようなバス停ですとか、そういうものを見直しております。

おっしゃられた岸町はいろいろな人が乗っているところで、経費はかかっていますが、市民の皆さんが多く利用している路線ですよ。ですからプラスになればいいというのではなくて、多くの皆さんが利用している路線については、当然今も見直しをしていますけれども、すぐに廃止ということはないと思いますので、今は担当してないものですから何とも言えませんけれども、皆さんが乗っていただく路線が全部廃止というわけではございませんので、またこういうような意見につきましては伝えてお

きますので、よろしくをお願いします。

《クオータ制》

意見 ずっと男女共同参画をテーマにいろいろな活動をしてまいりました。協働委託としてはイーブン・ライフ・イン川越とか市民フォーラム、啓発事業などを担当させていただいております。

先日の男女共同参画週間に向けての市長のメッセージもよく読ませていただきました。とても伝わってくるものがありました。今日は男女共同参画という立場から、クオータ制ということについて少しお聞きしたいと思います。

市長さんはどのようにクオータ制についてお考えを持っていらっしゃるのか、将来に向けてどのような発展的なことを考えていらっしゃるのか、お聞きしたいと思います。

川合市長 クオータ制というのは、クォーターの4分の1ではなくて、割り当て制、一定比率を確保するという、その比率がどこから出たかはちょっと不勉強で頭の中に入っていないのですが、市の職員についてもできる限り、特に管理職に女性を登用したいという考えはあります。現状は、係長クラスまでは県平均よりも多いけれども、それより上になると県平均よりも下がってしまうという現状があると思っております。裾野を広げることによって次第に課長、副部長、部長を増やしていくことができるかなと思っておりますので、極力、特に努力しなくても最近では応募してきて合格する人は女性が増えていますので、近い将来はそういうふうに管理職でも一定の比率以上の登用ができるようになるだろうと思っております。

ただ、あとは、人のせいにははいけないかもしれませんが、女性の意識の問題で、女性の側が、私は偉くなるより平たく言うと気楽でいたほうがいいと、そういうふうにおっしゃる方も結構いるのですね、組織の中で。

意見 直接市長さんにそういうことをおっしゃられるんですか。

川合市長 いや、そういうふうにお聞きするという意味ですけれども。その辺の意識もうまく誘導して変えてもらうような、そういう努力もしなければならぬかなと思っております。ついでに言えば、今、川越市議会は4月の統一地方選挙で女性議員さんが4人ほど増えまして、定数が減りましたから、ちょうど4分の1の現状ですので、職員のほうもなるべく早くそのレベルぐらいには持っていきたいなというふうに考えております。

《男女共同参画庁内会議委員の女性委員、高齢者の移動手段、小学生の演劇教室・音楽教室》

意見 今のに関連するんですけれども、この間、第4次川越市計画をいただき見させていただきました。その中で今の市内の男女共同参画市内会議委員に女性がすごく少ないんですよ。確かに要綱には課長というふうに出ているので、まず課長さんが少ないので、一人ぐらいしかいらっしやらないのかもしれませんが、特別に要請しているという委員さんも入っているんですけれども、それは館長さんだったり課長さんだったり、ほとんど男性なんですね。やはりそういうところを変えていただく、あるいは女性の意識も足りないかもしれないんですけれども、女性は出産とか育児というお休みをしなきゃいけない、ちょうど働き盛りにそういうハンディを持っていますので、そういうところも考慮して、最初の女性の意識の問題というのはどうかなって思っています。

それともう一つは、先ほどからシャトルバスのお話が出ていますけれども、うちのほうは、名細地区はすごく利用者が少ないんですよ。何しろ8時半の後は12時半までバスがないものですから、もうどうすることもできません。そして15分かけてバス停に行きますけれども、お買い物もやっぱり駅のほうですので、買った物を持ってまた15分歩いて帰るといのはとてもできないわけです。それで、利用する人が少ないと思うんですね。ですから、シャトルバスもいいんですけれども、もっと身近に、足腰が悪くなってそんなに歩けない人でも利用できる、そういう高齢者向けの何かシステムをつくっていただきたいなと思っています。

西口のふれあい拠点もそうですし、ここもですけれども、私は今、車ですからあちこち行きます。でも車がなくなったら、駅まで往復2,000円以上かけてはなかなか出ることができませんし、ひとり暮らしですとしゃべることもできません、家でひとりでぼつんといろのかなと思うと、それを一番私自身は心配しています。

それと、申しおくれましたが私は川越おやこ劇場という、プロの生の舞台を自分たちの地域に呼んで親子で見ようという会にあります。もう一つは、地域の子どもたち全部を視野に入れて、地域の子どもたちが本当に川越に育ってよかったなという地域になるような、そういうふうな劇場のスタンスです。

その中で、小学生の演劇教室、音楽に関する教室が川越には今ないんです。以前はあったんですけれども、いつの間にかなくなっちゃったんですね。私たちがプロを呼ぶというのは、プロの舞台というのは、やっている人と見る人が一緒になって、そこに生まれる感動を共有することが大切なんじゃないかと思っています。

子どもたちの感性を育てるところでは、すごく大事なことだと思っています。せめて一緒になって、違うかもしれませんが、川越市のすべての子どもた

ちにそういう会をぜひ一度味わっていただきたいと思っています。

市民部長 言い訳がましくて申し訳ございませんが、こちらでつくった冊子には、今ご指摘いただいた部分は課長の名前が全部出ています。市長がお答えしたとおりに、係長クラスはたくさんおりますが、まだその段階には人数が少ないものですから、当て職でそうってしまったのですね。その次のページを見ていただきますと、実際にこれをつくっている職員は女性がたくさん入っておりますので、女性の声が全部通るようにはなっておりますので、その次の課長のところになるまでは若干お時間をいただければ、次回には女性の課長が増えると思いますので、その辺だけは言い訳がましくて申しわけございませんが言わせていただきまして、シャトルバス等につきましては、また市長のほうからお願いします。

川合市長 検討させていただきます。

宍戸副市長 今演劇の話が出ましたが、私も副市長になる前は県の教育委員会にいまして、私も小さいころ、小学校、中学校で映画会があるとか、演劇を見て感動した覚えがあります。なくなったというその一番影響が大きいものは、土曜日が休みになって、授業時間の確保が非常に難しくなってきたことです。さらに、ここで教育課程が厚くなってきたので、ますます厳しくなっています。しかしその辺はどこの教育委員会でも情操教育は重要だと思っていますので、いろいろな手法でやっているのですが、その辺をどうやって変えていくのか、これから工夫が必要かなと思っています。せっかく土曜日が休みなので来いとは言えないのですが、それが現状です。

《育成会》

意見 育成会なんかも抜けるところが多いみたいですね。何か面倒だとか、そういうふうに考える方もいらっしゃるんですね。大変いい会だと思っているんですが。

宍戸副市長 最近はPTAとか親御さんもいろいろな意見の方がいらっしゃるの。

意見 町内会にも入らないところがあります。

宍戸副市長 なかなか一つのルールでは難しくなっているのかもしれませんがね。

《教員の仕事量の軽減、学校の臨時職員の増設、学校の女性管理職》

意見 今、学校のことが出ましたので、ちょっと学校関係のことでお話をしたいと思っています。私は青少年赤十字の関係で各学校を回って管理職の先生とお話し合いをすることをやっております。そこで、最近はこの管理職さんも、とにかく学校が忙しくてしょうがない、土曜日がなくなったのと時間数が増えたので、自分の学級の仕事は5時以降にならなければ絶対できない状況で、忙しくてしょうがないと言っているんですね。

なかなかこれは難しいことなんですけれども、ぜひ学校の先生方の仕事を少しでも支援していただきたい。臨時職員を少しでも増やしていただければと思うんですね。今とっても効果を上げているのが、図書館のお手伝いをしてくださる臨時職員がいるんですね。どこの学校を回っても最近は図書館がすごくきれいになっていて、借りる本がとて多くなりました。これは市の臨時職員の方が入ってくださったお陰で格段の効果を上げていると思います。

それから、小規模校の場合はクラブ活動の指導者、そういうところもお手伝いをいただいていると思いますが、事務的なものでも何でもいいんですけれども、とにかく教員が少しでも休めるよう臨時職員を指導してやっていっていただきたいと思います。

もう一点は、先ほどから出ております女性管理職の件ですが、川越市で私たちが管理職をやっているところは女性校長が3分の1いたんです。ところが年々減ってしまって、今はとにかく受ける人もいないというのが状況だそうなんですけれども、私たちとしてはぜひ女性管理職を増やしていただきたい。これは教育委員会等にもお願いしたいと思います。2点、よろしく願いいたします。

《児童館の拡充》

意見 私も大変長く学校に勤めておりました。初め、昭和57、8年ごろに今の児童館のオープンがありました、ちょうど同じころに女性会館もできたんですね。それから中央公民館の上の勤労青少年関係の施設もできて、それぞれ活発に動いていたんです。その女性会館には、田舎から出てきた父母の方が泊まれるようにというところまで考えて、当時の市長さんや管理職の女性の方がつくってくださったんですね。そのころは、川越市は埼玉県最先端に行くようなすばらしい、活発に動ける私たちの誇れるような場所だったんです。ところが今を見ますと、例えば入間市や所沢市なんかを見てみますと、児童館でも立派なものできていますし、女性会館もいろいろと整えられているような施設になっているんです。今はお金がないからしょうがないんですけれども、あの当時は学校の4年生になりますと、みんなであそこのプラネタリウムを見に、そういうものも組みながら、学校教育にも取り組んだ施設だったんですね。今はどうなっているのか心配ですけれども、一つ一つの学校にバスを出してということまではできないと思いますが、せっかくある施設がいつも小さな子供たちの遊び場みたいにならなくて、もっと青少年という年代にもすばらしい施設になるといいなと思います。

この間、中央通りを通りましたら、ひどく込みますよね。やっぱり市長さんもお金

があればもっとすごいをつくってくださると思うんですけども、あんなふうになったならば、青森のねぶたができるまではいかなくても、相当川越の通りも変わったなというところが周りの人にも伝わると思うんですね。だから今ある施設のいろいろなものをもう一度考えてみて、今までと同じという形にはできないと思いますが、今度はみんながいろいろなところでそういうような場所に、広さに、それからいろんな設備を考えていただきたいなと思いますので、お願いしたいと思います。

川合市長 川越市は中核市ですけども、ほかの中核市に行ってみると、やはり県庁所在地が多くて、川越と比べてインフラ整備が進んでいるのですね。すばらしい施設やいろいろなものを持っていて、そういうところへ行くためには、川越市ももっとインフラ整備をしなければしょうがないなという思いは常に抱えています。

特に児童館については上尾にすばらしいものがあるということをもう前から指摘いただいておりますし、数としてもかなり見劣りがする、県内の主だった市を見ても二桁ぐらいの数があるのに、川越市は今やっと3つですよ。そういうこともあってそういう方面の整備をやっていかなければと、そういう思いはございますので、財政が厳しい中、何とかやっていきたいとは思っておりますが、ちょっと時間がかかると思います。

意見 西口の整備とあわせて、そういうことも考えていただきたいなと思います。

市民部長 今、こどもの城がございしますが、こどもの城が大分古くなったものですから、ここで市長から何とかきれいにして皆さんが使いやすくできないかと、建物を建てたり土地を買ったりするのはなかなか大変ですけども、今ある施設をリニューアルしようということで、またご迷惑をかけるかと思いますが、夏休みが終わったあたりから数千万かけましてリニューアルさせていただきます。新しいものをつくるというのは難しいですが、今あるものを大切にしたいということで、ここで幾らかよくなるかなという部分がございしますので、ぜひ期待していただきたいと思えます。

意見 ありがとうございます。大いに期待しております。

《キャンプ施設》

意見 今、青少年のことで施設のことをおっしゃってくださったんですけども、今、ガールスカウト第73団はキャンプ中ですけども、川越にはキャンプする場所がないんですね。大体入間とか狭山とか、それから所沢のほうに行かないとそういう施設が全然ないということで、もし施設を建てるとか、それから場所云々ということじゃなくて、入間、狭山、所沢という感じでもって一緒に活動する、市役所を通じて、川

越市もそこに参入して青少年のそういう活動範囲が広げられるように、安く泊まれるような状態をつくってほしいなとかねがね思っています。

10年ぐらい前には川越にもありましたけれども、今は閉鎖されちゃって、もう全くなくなっちゃったという状態ですので、どこもないと鶴ヶ島へ行ってお願いしたり、ないときは笠幡公園にテントをかついでキャンプをしたりしていますので、何とかそういうところをつくっていただけたらとか、提携して使用させていただけたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

《花の咲いている集客施設》

意見 市長さんに対しましては私たちもいろんな要望がいっぱいありまして大変だと思うんですが、市長さんが新しく市長になられたころ、蓮馨寺さんでの講演を私たち茶道クラブも聞きました。そのときに川合市長さんがおっしゃったことは、川越にたくさんの観光客が来てお菓子を買っていただいたり、いろいろとお金を落としていってくださってありがたいんだけど、それだけではなく、料亭とかでお酒をいっぱい飲んで泊まっていただく、そういうお金を落としていくところを、だから料亭をつくれというわけじゃないんですが、料亭でお酒を飲みなさいというわけじゃないんだけど、市長という立場からするとそういうふうに関客に泊まっていただいて、皆さんと一緒にお酒を飲んだりしてもっとお金を落としていってもらう、この話が何となく私は気になっていました。

市長さん、この前、5月25日に伊奈町に行ったんです。私は新河岸のほうの田舎に住んでいるんですけども、自治会で伊奈町のバラを見に行こうと、伊奈町にはバラで有名な公園があるんですが、そこに入るには500円を出しまして、そしてバラの花のお菓子をいっぱい買ってきたりしましてお茶席に出したり、ああいうのが川越にもあると入園料が取れる、川越にも入場する歴史的な観光スポットはありますけれども、それ以上に施設的にも花が咲いたりするところがあれば川越に行こうかということになって、こういう観光客も増えればいいのかないかなと思いました。伊奈町の町制施行記念公園のバラ園なんですけど、そういう形で作られた施設で、数と種類も多く結構見栄えがありましたし、十何人で行ったんですけども、バラのお菓子を買ってきたり随分お金を落としてきましたので、川越市には伝統的、歴史的なもので皆さん訪れてきてくれていますが、施設的にもそういうプラスアルファしたものがあればと、川越に行けば秋にはあれが見られるよとか、そういうアイデアがないかなと思っています。

川合市長 貴重な提案をありがとうございます。

《巨大発泡スチロールオブジェ》

意見 私たちは川越に育って川越におりますから、川越の良さというのが余りわからないところがあるんですね。ただ、遠くから友だちが川越に来たとき、リピーターが多いんですよ。やっぱり川越の歴史とか喜多院さんだとか、物を買うというより、その歴史を知りたいということで、もう3度行ったわよなんていう人もいます。

ただ、私どもの墓地が行伝寺と養寿院なんですね。あそこを出たところに大きな蛙とか兎だとかがあって、あれが余りふさわしくないんじゃないかと思うんですが、どうしてああいうものをやるんですか。あれはがっかりです。

川合市長 あれは多分お店の人がつくった人をお願いして置いているのだと思うんですね。それぞれのお考えでやられていることに行政として口は出しにくいのですが、いろいろな考え方があるのかなと、ああいうものでお客さんを引きつけるという考えなのでしょうけれどもね。

意見 住職さんにちょっとお話ししたら、お寺の住職が言うのは申し訳ないから、だれかが言ってくれると思って待ってるけれども、蛙だか何だかの大きいのがあるんですね。やっぱり川越にふさわしくないんじゃないのかなっておっしゃってありましたけれども、私もそう思うんです。

川合市長 屋外に置いておくと、だんだん色あせてきて見栄えがしなくなるから、そのうち撤去するかなと思っているのですが。

市長秘書 あれは私どもの先輩が、たしか発泡スチロールを材料にああいう表現の作品を製作していらっしゃるんですね。もう何年かやっていて、あちこちで作品展もやっています、一部では評価もされている方なのです。それで、1回だけつくって壊してしまうのはもったいないというので、菓子屋横丁会とかそういうところに声をかけて、それでうちの中ならいいよという形の中で、いわゆる民地の中に置いているものですから、いいよという人もいれば、不気味だっておっしゃる方もいるかもしれないです。

意見 何かふさわしくないような気がしているんです。

市長秘書 ただ、そういうものについてはやっぱり市民の皆さん同士で議論していただくのが一番だと思うんですね。

意見 伊佐沼とかどこかの公園とかに置いたらいいんじゃないかと思うんですよ。でも今は伊佐沼にすごく大きなハスの花が随分咲くようになりましたね。川越らしいまちづくりというのを考えていただけたらと思います。

《学校給食の安全性》

意見 川越市手輪の会に所属しております。よろしくお願いいたします。

今朝、新聞を見ましたら、「学校給食に弁当持参」と書いてありました。何日か前の新聞には、川越市の市教委も牛肉は2学期以降は出しませんという記事があったんですね。それを見まして、牛肉だけを心配すればいいのかなと私はふと思ったんですけども、今日は弁当持参という記事がありました。

それを見ていきますと、今は保護者もぴりぴりしてますよね。学校給食、大丈夫なのかしらねという話を若いお母さんから聞きます。じゃあ家庭ではどうしているのかなというふうに私は思ってしまうんですね。そうしまして今朝の新聞を見ますと、県教委でも実際の数は把握していないけれども、お弁当を持たせているところがあるというんです。だからやっぱり不安を感じる保護者からいろいろなことが出てきて許可しなかったのかなと思ったんです、どことは書いてありませんでしたが。その最後に、川越市教育委員会は牛肉の安全性が明確に担保されるまでの間、2学期以降は牛肉は出しませんというふうに書いてあるんですね。新聞にこう2回も出てきているわけですが、果たして牛肉だけでいいのかということと、またお弁当についても、お弁当というのは保護者にとってすごく苦痛なんです。学校で給食が1日ないとなぜ出さないのかと言うぐらいです。運動会なんかも見てますと、手づくりのお弁当というよりコンビニのお弁当もあるという先生方の話も聞きます。これからお弁当になったら本当に大変なんじゃないかなって、いろいろと私なりに考えてまして、今後このいろいろな問題はどうなるのかと、川越市では牛肉は2学期以降は出しませんということですが、ではほかのものはいいということになるのでしょうか。

穴戸副市長 それは、県が記者会見の中で学校ごとにそういう人たちもいますと、そういう人たちにだめとは言えませんということで、給食をやめるということではないと思います。県の教育委員会も市の教育委員会も、やっぱり学校給食は食べるだけではなくて、食育という面もありますので、みんなで同じものを同じように食べて、よくかんで食べるというように栄養士さんに教えてもらって、一つの教育ですので、給食はやっぱり必要だと思うのですね。

牛肉に関しましては、例の稲わらの問題があって、いろいろな対応が後手後手になってああいう状況になりました。そういうことから7月2日ぐらいに牛肉に対して県の教育委員会では、当面牛肉は明らかになるまでは使用しないということになりました。

今、市町村の教育委員会のほうでは地産地消を一生懸命進めています。なるべく地

元でとれたものをということで、川越市の農産物については、県の係数とかあるいはその後の状況の中で、これについては中・長期的には問題がないということになっております。ですから基本的には給食ということで、農水省や文科省の指導に従って安全を図りながら対応することは変わってございません。これは県の教育委員会も変わっていないと思います。ただ、どうしてもという方がいらっしゃって持つていくことに対しては、やぶさかではないということを行ったかと思えます。例えば今でもアレルギーなどでもそういうことがあると思えます。私はそういう印象を持っています。特に牛肉は差し控えるということです。ただ実際問題、牛肉は高いので、これまでも月に1回使えるか使えないかの状況では、使わないといっても使うといっても余り変わらないのではないかと思います。

意見 私も学校給食の運営委員の一人でかかわっておりますけれども、本当に食材については川越市の場合は安心な物を使用しておりますので、そういった保護者の不安というのは学校を通して徹底してお知らせするというのが、新聞に掲載されても読まない人もいますので、そういうことがきちんと伝われば安心だと思います。

今、一生懸命市のほうも学校給食についてはやっておりますから、どうぞ安心してくださいとそういう方がいたらお知らせしていただきたいと思っています。

川合市長 牛肉については市としては当面の間、使用しないという考えです。

市民意見箱の中にも、給食の食材についてはちゃんと放射能の程度を調べてほしいというご意見もいっぱい来ているのですが、実際問題としてそれは不可能なことですよね。今日使う食材について、今日調べて、今日結果を出して、これは使わない、これは使おうと、そういうことは到底できないことです。かつ食品の中の放射エネルギーを調べる機関が、あるいは装置というのは、この川越の近辺にはない、外に出さなければならぬ、そうすると日数がかかるということもありますから、実際にはできないことです。ただ、少なくとも埼玉県産の野菜、食材、それから近辺の群馬県産などもそうですけれども、群馬県産は一時暫定基準値よりも高い数値が出たホウレンソウがあったのですが、今は全部落ち着いていますので、そういうような極力今までの中で汚染されていない、あるいは放射性物質が暫定基準値よりもはるかに低い地域の材料を本当に使っているかどうか、その点のチェックをやっていけば心配していただく必要はないのではないかと考えておりますので、ぜひ周りの人にもそういうことを伝えていただけたらと思います。

《投票率の向上策、川越駅東口の喫煙所》

意見 2つほど質問してよろしいでしょうか。1つは、先日、埼玉県知事の選挙があ

りましたけれども、投票率がとても低く、その中でも特に川越市は低かったというふうなことを知りまして、何年か前というか、私たちの若いころはほとんど新興住宅地ですと東京の方に勤務しているという形があったかと思うんですが、最近では私たちの周辺を見ても、退職して地元に戻っている方、地元に住んでいる方が増えたにもかかわらず、とても政治とかそういう地域に対する関心がまだまだ低いのかなというふうに思われます。

川越の市議会議員の選挙のときにも感じましたけれども、自分の周辺を見てみると、結構小学校の投票所に人が出かけてるなというふうには感じるんですが、川越市全体としてはなかなか投票率が上がっていないなという中で、そういう意味で市とかそういうところで関心を持つような呼びかけというのでしょうか、そういうものをしていただきまして、川合市長さんもこの次の選挙のときにはぜひ投票に行きましょとアピールをしまして、対抗馬の方もぜひたくさん立って、活発にいろいろと議論して、いい市になるようになってくれたらいいかなというふうに思っております。

あともう一つは、川越駅をおりましてアトレのほうに向かうところの東口のデッキのところなんです、デッキから見渡したその向こう側の通路のところの上のほうに喫煙所がありまして、川越駅をおりてクレアモールのほうに行こうかなと思いますと、タバコの煙やにおいがフワッとしてくるんですね。その喫煙所をもうちょっとどうにか変えていただけないかなというふうに思っています。

川越には観光でたくさんの方が見えると思うんですが、川越駅をおり立ったらもうタバコのおいがしてくるといのは、ちょっと逆効果かなというふうに最近感じるようになりました。

川合市長 選挙の投票率につきましては、ご指摘のように今回川越市は22.何パーセントで、県の平均よりも3ポイント近く低いのです。極力投票率が上がるように選挙管理委員会のほうにも宣伝カーを出したり、あるいは防災無線で広報をやりなさいよということを行ったのですが、なかなか難しい面があります。今後ともいろいろなやり方で努力して投票率を上げたいと思っています。

ただ、一番投票率が上がるのは、選挙で明確な争点があるような選挙にするというのが効果的ですね。ですから候補者の方に争点をつくるように働きかけをすることか、そういうようなことも理屈の上では考えられなくもないのだけれども、現実問題としては極めて難しい面があります。

それから、アトレの前のデッキの上の喫煙所については、同じようなご指摘をいただいているので、検討を進めたいと思います。

《議会傍聴》

意見 今、話されました先日の県知事選挙の埼玉県の投票率は大変低く、川越市ももちろん低投票率なんですけれども、今回は川越市議会も40人から36人になりまして、女性議員が増えて9人になりました。低投票率になるというのは、皆さんが議会傍聴に行きまして、一人でも自分が投票した議員に対してもっと応援する形、どういう行動をしているのか、どういふことを皆さんに望まれて一般質問しているかということがわかれば、投票率につながるのではないのでしょうか。大事な一票ですから、皆さんもぜひ議会傍聴にどんどん行っていただきたいと思います。私もときどき行かせていただいているんですけれども、市長はどのくらいの方が傍聴に見えているか、ご存じでしょうか。

川合市長 私が座っているところから実によく見えるのですね。ですから今日は大勢いらっしゃっているとか、今日は2人しかいないとか、そういうように傍聴席を常に見ながら議会に出ています。

傍聴に来られてやっている中身がわからないとつまらないですよ。つまらないとか、来た意味がないという印象を持たれている方は多いのではないかと思うのです。ですからなるべく議会でやっていることが傍聴人にもわかりやすい、そういうようなやり方をしたらいいなと他人事のように言うのですけれども、これは議会の問題ですから、私が余りああしろこうしろと言えないのですね。ですからそういう方向になるようにいろいろな形で議員さんとかそういう方たちに働きかけはしているつもりですし、していきたいというふうに考えています。

意見 私が教育委員長をやっていたときに議会に出させていただきましたが、知り合いの議員さんが質問するときにはたくさんいらっしゃるんですよ。で、その方の質問が終わるとさあっとお帰りになるんですよ。だから議会の内容を知りたいというよりも、恐らく自分が支持する人への応援で、それで私たちもああと思ったことがありましたけれども。

川合市長 そういう動機でも大勢来ていただけると、また意味があるのだと思うのです。

市民部長 答えるほうも大勢いると緊張します。

《学校の耐震化》

意見 今、福原小学校の耐震化を夏休み中にやっているそうですけれども、川越市内の学校の耐震化はどのくらい進んでいるのでしょうか。

川合市長 今年度末で8割近く、来年度で全部終わる予定です。

《市庁舎の耐震化》

意見 この市庁舎はどうなんでしょうか。

川合市長 市庁舎は、去年耐震診断をやって、3年ぐらいのうちには工事をやりたいと考えているのですが、去年やった耐震診断の結果では、6階部分のIS値が0.2幾つで、0.2幾つというのは震度6ぐらいの地震で壊れるおそれ大きいということです。

意見 地震が来ないように願うばかりですね。

意見 庁舎は中心ですからね。

川合市長 確かにそうですけれども。

《川越市の女性管理職との交流》

意見 私は和の文化の歴史を教えています。今、私がやっているのは地域福祉活動とお裁縫類です。今日はこんな機会を設けていただきまして感謝しております。

シャトルバスについて、これからすぐに見直しをするということなので、私も大変期待をしています。

一つ、以前は2020年までに30%の政策決定の場に女性を置くと聞いたことがあります。議員さんのほうが9名で30%に近いわけですが、市の女性管理職の方の比率が私は低いなと思っていますので、女性団体連絡協議会の人たちとも話しているのですが、庁内の女性管理職の人たちと交流ができたらいいなと思っています。

川合市長 それはぜひやっていただけたらと思っています。

《ブックスタート》

意見 ひとつづくりということでちょっとお話をさせていただきたいと思います。

最近夏休みになって公立図書館に親子連れの、若いお父さん、お母さんが乳幼児を連れて、ワゴンを持って、何冊も本を借りて家に持ち帰って、お父さんがそれを読み聞かせをするという、まさに男女共同参画の子育てをしている場面を見る人が多いんですね。ひところは図書館というと中高年が利用している場面が多かったのですが、最近は本当に子どもの利用が多くなりました。4カ月健診のときにいただいたこの本を入れる布バッグ、あの当時は布バッグで、そのバッグを持って乳幼児を連れて、幼稚園の子や保育園の子が自分で本を選んで本を読むという習慣が身についている状況を見て、本当にほほえましい、本当にこれは親と子の絆を深めるブックスタートですね。もともとは親子の絆を深め、心を育てて、そして言葉をはぐくむというすばらしい取り組みを川越市は2003年から始めて継続されているわけですが、非常にこれは子どもの心を育てるとともに、若い親にとってはやはり親も本を読まなくちゃいけないんだな、そして一度も市立図書館に行ったことがないという親が、そこ

でカードをつくってもらってどんどん借りるようになったという話を聞いたり、あるいはいろいろ経済的にゆとりがなくて、子どもの本も1,500円ぐらいするんですよね。お金がおかずに回っちゃって本にまで行かないというときに、こういう行政として働きかけをして本をいただくということは本当にありがたいことだし、いいきっかけになっていると思います。

このきっかけというのは、やっぱり幼児期に培ったものは学校に行っても、小中学生の習慣につながっていき、本を読むということはすばらしい学力につながっていくことなんですね。10年前に比べると今は子どもたちの読書量は2倍という、こういう小さな、本当に読書というのは目には見えない、漢方薬のようなじわじわ浸透して、大きなひとつづりに還元されていく、国家百年の計ではありませんけれども、それは読むことから始まると思うんですね。そういう体制を川越市はブックスタートと呼んでやっていたらいいですね。今は予算もないんです。以前はもうちょっと予算的にあったということで、これは本当に川越市民の文化伝統という文化を大事にする市民をつくるとしたら、このときから始まるんじゃないか。予算づけをもう少ししっかりと、1冊とは言わず、2冊、3冊と、ぜひぜひ人をつくるということはここにあるかなと思います。

長野県の茅野市の例なんですが、出生届をしたときに本を1冊、生後4カ月の健診のときに1冊、そして入学のときにブックリスト30冊の中から子どもに選ばせて本をあげる、そしてまた成人式のときにも配るといって、川越市より小さな、6分の1ぐらいの市町村なんでしょうけれども、それぞれ小さいときから手厚い本を読むまちということで、本当に大きな都市ではない茅野市ですが、川越市はブックスタートを始めていますので、その火を絶やさないように、これは本当に小さなことですが、大きな人間をつくるためにはぜひ継続していただきたいと思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

川合市長 前向きにやります。

《育児ボランティアの講習》

意見 今、若いご家族のお話が出ましたけれども、何年か前から学生の方の保育ボランティアがおいでになっていたんですね。何日か前のNHKでも育児という放送がありました。これから元気な高齢者が多い時代ですので、特に埼玉県は若い方の就労率が大変低いわけですね。ですからぜひ元気な高齢者に育児もお手伝いをいただけるような、何かそういう育児の講習みたいなものはあるようですね、川越市でもこういう施策をしていただけたらいいかなというふうに思いました。

《美術館の管理》

意見 先日、ちょうど雨が降っていたときなんですけれども、美術館に観光バスで学生さんがいっぱい見えてたんですが、自動の傘立ての機械が壊れていて傘を盗まれてしまった人がいるんですよ。一応受付に言ったんですけれども、パートなのでわかりませんということでした。傘立ての鍵が壊れていて、そういう傘がなくなったりしたら、川越は観光客を誘致しているのに気分がよくないですよ。川越のイメージが悪くなると思うんですよ。そういうものをきちんと修理して、来ていただいた方に悪いイメージを与えないようにしていただきたいと思います。ちょっと細かいことなんですけれども、よろしく願いいたします。

市民部長 持ってきた傘を置くというのではなくて、いろいろなところで傘を貸して、どこでも置けるというような方法もあるんですよ。市に言っても取り上げてくれないということがないようには伝えておきますので、申し訳ありませんでした。

《臍帯血のPR、子育て支援、子宮がん・乳がん検診無料クーポン券のPR》

意見 臍帯血のボランティアをやっています。ボランティアを始めて丸9年になるんですけれども、日大の施設に搬送させていただきました臍帯血が今年で8,400件になったんですね。難病である白血病や甲状腺がんに対して威力を発揮するという臍帯血ですので、私たちは本当に交通費しかいただいてないボランティアで、日大の施設の方へ運ばせていただいているんですけれども、その数を見てみると、9年前に始めたときと今の臍帯血の数が増えてないんですね。というのは出産数が増えてないのか、それとも臍帯血というものを知らない、PRが足りなくて臍帯血を知らない方が多いのかわからないのですが、川越市としては現在出産数は増えているのでしょうか。

川合市長 出産数は少なくとも増えているという印象は持っていませんで、横ばいだと思います。

意見 そういうところから見ても、また少子高齢化と言われているように、なかなか赤ちゃんを産もうという気持ちにならない若い人たちが多いかなと思うんです。やはり子育てに希望の持てる施策をしていただくと、もっと赤ちゃんが生まれる率が多いのかなと、男女共同参画ですので、本当にご夫婦で初めて世の中に自分の種を送り出すという、それでその臍帯血を通してまた新しい命を助けることができますので、社会に役割を示す大事な仕事だなと思って、それに私たちも自信を持って、誇りを持って毎日運ばせていただいているんですけれども、本当に子育て支援に関して川越市もとってもよくやったださっているんですが、まだまだ子育て支援に関しては見えなかなと思うことがあります。

それともう一つは、若いお母さんたちが元気で、そのためには元気で生活できなきゃいけないので、子宮頸がんとか乳がんに対する川越市のクーポンがあります。それはとってもよかったかなって思うんです。それがあってすごく受診率が上がったということがあるので、私たちももう年齢的にはその年齢ではないんですけども、若いお母さんたちにもっと頑張ってもらって、川越市が本当に住みよいところだからというアピールできる機会を持たせていただいたなと思うので、毎日楽しく搬送はさせていただいているんですけども、その辺のPRも、もっともっと皆さんに知っていただければいいなという思いでいっぱいです。今日は本当にありがとうございます。

《街路樹の剪定方法》

意見 環境のことなんですけれども、うちのほうは道路にケヤキの木がたくさん植わっているんです。そのケヤキの木を根元から切ってしまってますので、昔だったらきれいにケヤキのトンネルができたんですが、最近は排気ガスがそのまま、二酸化炭素がそのまま出てきちゃっているということで、ちょん切られてしまっているの、景観も悪ければ、緑も全くないという状態になっていますので、ああいう切り方をしないような指導をしていただきたいと思います。

川合市長 全く同意見です。

《河越館跡の整備、川越茶の復興》

意見 それともう一つは、河越館跡なんですけれども、見ると草ぼうぼうになっていて、これは何だろうと、国指定史跡とはなってますけれども、一体これをどうするんだろうと、毎日見てますので、そこもちょっとよろしくお願いします。

川合市長 私は、あの原っぱは草を刈って子どもを遊ばせたらいいと思っているのですが、何か上につくってはいけない場所だそうですよ。

意見 建物はいけないそうですね。川越というところはお芋じゃなくて、昔から川越茶ということで有名なところだそうです。じかにそういうことを聞いていますので、川越茶を何とか復興させていければいいんじゃないかと思うんですが、よろしくお願いします。

《拠点施設の音楽室》

意見 私は、川越駅の西口に、県の福祉センターとか図書館の跡地に5、6階建ての施設が建つということをお聞きしたんですけども、そのところに防音効果のある音楽室があって、1,700人も収容できる会館ができるということをお聞きしたんですけども、そこにスタジオをつくっていただきたいなというふうに思ったんです。

それは、私たちは和太鼓をやっていて、川越市内の施設を利用しようとしたところ、まつり会館がそういう防音効果があって練習ができるということを聞きまして、そこへ和太鼓の練習をさせていただけないかしらとお尋ねしましたら、そこはお囃子連の人たちが使用するのです。そういうことは一切できませんと言われたんです。そのために私たちは富士見市の市民文化会館キラリふじみをお借りして、こちらから太鼓を持って練習をしている次第なんです。

そういうスタジオもぜひつくっていただけたらなと思っております。そうすれば若者たちというわけではありませんが、ダンスの練習をしたり、ドラムの教室で使っているんですけれども、そういうことでスタジオをぜひお願いしたいと思います。

川合市長 川越駅西口にできるふれあい拠点施設というのですけれども、そこにつくる施設については、数年前から検討して、既にこういう機能で、例えば1,700席のホールをつくろう、あるいは女性会館にあるいろいろな機能をそこに移すために会議室を幾つとるとか、あるいは相談室を幾つとるとか、そういう基本的な計画というか、コンセプトはもう固まってしまっているのです。これから設計の発注をしようという段階にまで来ているので、既にそういうスタジオがあるのかどうか、詳細について頭の中に入れておりませんが、今から施設を入れ込むというのは多分できないと思います。川越駅西口のふれあい拠点施設にはスタジオは入っているのですか。

市民部長 ご期待に沿えるようなものかどうかはわかりませんが、音楽室というのができますから、多分そういう形の中で使えるようになるのではないかと思います。

川合市長 音楽室をつくる以上は防音になっているはずですね。

《防災行政無線》

意見 私は、高階中学校の近所に住んでいるのですが、防災無線について気になります。防災無線からやはり3月の地震以降とても重要なことが流れているんじゃないかなって、聞かなくちゃと思うんですが、実際問題としては聞こえないんです。高階中学校から本当に50メートルぐらいのビルの2階に住んでまして、テレビもついていないシーンとした状態で、何か聞こえているというのはわかるので、窓をあけてこうやって耳を澄まして聞いても、もうそのときにはアナウンスが終わってしまっていたり、何か重要なことを言ったんだろうなと思うんだけど、聞き取れなかったときの恐怖心というのがすごくあります。私は耳も普通ですし、かなり早く窓をあけて聞いているんですが、その時点で終わってしまっています。そうするとお年寄りがあらって思っている間に、何だかわからないってということがきっと起きていると思うんで

すね。ですので今こういうびくびくしている状況ですので、アナウンスが届いているかどうか、またアナウンスも何度も繰り返すとか、すごい緊急なことなのか、重要な話をするのか、とりあえずお知らせぐらいなのかがわかるようなアナウンスの内容にしていただけると安心できると思います。よろしく願いいたします。

川合市長 防災無線については、震災の後、いろいろなところから聞こえない、あるいは聞こえるけれども中身がよく聞き取れないとか、いろいろなご意見や苦情が出ています。つくった当時に比べて大きい建物が増えてしまったとか、そういうことで聞こえなくなってしまった場所もあるでしょうし、今調査をして、どこが聞こえないのか、あるいは聞きにくいのか、そういうようなデータを集めて、何らかの形で改善するために調査しているところです。

もう一つ、防災無線ではなくて、メールで直接情報を送るという方法も今は始まっていますので、それを広げていけば防災無線よりも早く、わかりやすく、皆さんにいろいろな情報をお伝えできるであろうというふうに考えていますので、そちらのほうも鋭意進めていきたいと考えています。

《建築物の高さ規制》

意見 私は仲町に住んでいるんですけども、最近いつも見ていると、周りに高いマンションがたくさん建っているんですね。日照権とかは問題はないんですけども、ただ、本当に川越の空が見えなくなってしまったなといつも思っています。ぐるっと見ても壁ばかりで、規制とかそういうものはないのかなと思ったりもします。

それからもう一つは、新富町のところから川越駅に向かう通りにも、あそこは商店街だなと私は思っていたんですけども、そこにもマンションが随分建ってますよね。あれもどうなのかなというふうに思います。それは、景観のこともありますし、全体的な景観です。一つずつの景観は、市でも景観賞とかという賞を出していますから、それはよく存じ上げていますが、そういう部分的なことではなく全体的な、本当に空も見えなくて、蔵造りのところにマンションが出てきたりしていますので、どういふふうに市のほうは考えていらっしゃるのかなということが一つあります。

それから関連で、新富町のところにマンションが今ありますが、大きな地震があると崩れたりしますから、道幅が狭いので、広いところならまだ空いているところに逃げることがありますが、あれだけ狭いところに、商店街にマンションが建って逃げられるのかなということも気にしています。また、私自身も、仲町なんですけど、道が狭いので逃げるといってもどこへ逃げるんだらうと思って、学校といっても学校まで行くには距離があります。神社といっても神社は狭いので、逃げて意味がない

と思います。つまり避難場所がありません。そのことについても、今回の震災がありましたので、よろしくお願いします。

市長秘書 今は本職ではないので、これからどうするということについてはちょっとお答えできないのですが、一番街の蔵造りが一番集中している界隈の7.8ヘクタールについては伝統的建造物群保存地区に指定されています。その周りについては景観形成地域指定となっています。

それぞれ規制があって、伝統的建造物群保存地区の場合には高さ制限があって、たしか11メートル以上のものは建たないようになっています。それからその外の景観形成地域の場合には時の鐘の高さが基準になっていますので、16メートル以上の建物は建たないという形にはなっています。つまり卵の黄身の部分が厳しくて、外側の白身の部分は少し穏やかに規制しますよということやってはありますが、その景観形成地域というのは市の条例で定めるという考え方ですので、そのほかに全国どこでも共通している建築基準法とか都市計画法というものがあって、都市計画で土地利用の範囲はご存じのとおり定まっているのです。

今お話が出た新富町通りは商業地域で、たしか建蔽率が80%の容積率は400%ぐらいあるわけです。だから今はたしか12階か14階ぐらいまででお願いしているのですが、もっと高い建物が建つ要件にはなっているのですね。

そこを実際には都市計画を見直していかなければならいとは考えているのですが、この手続きが大変膨大なものですから、とりあえず蔵の町の保存というものをやった、その外側の景観形成をやった、そこから先の都市計画用途の見直しに今着手している段階だろうというふうに私は思っていますので、今おっしゃられている皆さんの声をどんどん市のほうに上げていただいて、やっぱり川越に住んでいる者としては、時の鐘が見えるような生活をしたいとか、蔵と蔵の間からマンションが見えるようなものは避けたいんだとかという声を寄せていただきたいなというふうに思います。

市民部長 個人が持っているものですから、土地についても、皆さんがお金を出して建てられる制限というところまでは自由になります。マンションにしてもそれなりに建てられるまで皆さんが建てます。ただ、それでいいのかどうかというのはみんな、規制というのはみんながつくる話で、自分の財産を法的に問題なく建ててどこが悪いんだと考える人もいます、当然ですよ、自分の財産ですから。ただ、この町で住んでいくのだから、みんなで何とか考えて決めていく、その約束をつくるというのは大変な話ですけども、住めればいいというのではなくて、住んでよかったというものを皆さんと一緒にお話をする中でつくっていかなくてはいけないと思うのですね。で

すから建築基準法とかいろいろなものがあって、市役所がだめだよと言えないところの私有財産権というものがありますので、なかなか難しいのですけれども、みんなが話し合って、こうあるべきだよなってなれば、一つのそういうような規制、みんなのルールができるかと思うのです。難しい部分がございますけれども、ずっと住むのだったら、当然住みやすい町がいいですから、何とかみんなで話し合いたいと思うのですけれどもね。

意見 県内では川越市が一番住みたいという話ですから、皆さんたくさんいらっしゃるんじゃないんでしょうか。

川合市長 今建っている建物は、マンションは、みんなそうですけれども、法律の基準の範囲内で建てているわけですよ。さらにそれよりも厳しい基準をつくらうとしたら、それはその地域に住んでいる人たちの、大方の人たちの同意がないと、そういうことはできないのですよ、残念ながら。やっぱり高度利用したい、千坪の土地を持っていたら、2階建てをつくるよりも5階建て、6階建てをつくったほうが、マンションとしたらいっぱい戸数ができて利益になるわけだから、そういう使い方をしたいというふうに考える人もいるわけで、そういう土地所有者の、あるいは住んでいる人の大方の同意がないとなかなか、伝建地区みたいな規制はできないというのが現状です。

本日は貴重なご意見、さまざまなご提案をいただきましてありがとうございます。今までのタウンミーティングの中でも、提言、提案が多かった、これは大変嬉しいと受けとめております。今後とも川越市の行政に対しましていろいろなご意見をお寄せいただくなり、あるいはいろいろな形でご協力をいただきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。今日はありがとうございました。